

安芸高田市民モニター 集約結果

【第4回：家庭での防災用備蓄について】

調査実施期間

2024年7月24日(水)～8月5日(月)

【アンケートの目的】

近年、災害が甚大化し、家庭や企業における備蓄の必要性が高まっています。今後、備蓄の推進の取り組みをさらに充実させるため、みなさんの備蓄意識や現状について調査します。

・備蓄の日について

本市では、土砂災害や風水害、地震に備え、家庭や企業における備蓄を推進するため11月19日※を「備蓄の日」として制定しました。

※1年に1度はびち(1)く(9)の確認

【回答者数】

モニター総数	162
今回回答者	115
回答率	71.0%

【年代別】

	モニター数	回答数	回答率
20代以下	14	9	64.3%
30代	9	4	44.4%
40代	20	13	65.0%
50代	25	15	60.0%
60代	30	25	83.3%
70代	44	35	79.5%
80代	18	12	66.7%
90代	2	2	100.0%
合計	162	115	71.0%

【居住地別】

	モニター数	回答数	回答率
吉田町	51	34	66.7%
八千代町	25	19	76.0%
美土里町	15	9	60.0%
高宮町	25	16	64.0%
甲田町	20	15	75.0%
向原町	26	22	84.6%
合計	162	115	71.0%

○文中の【n】は「有効回答者数」を表しています。

市民の皆さんへお伝えしたいこと。

今回の市民アンケートの結果から、7割以上の方が災害に備えた備蓄をされていることがわかりました。これは、2024年1月に発生した能登半島地震や、近年の大雨災害などから、市民の皆さんの災害に備える意識が高まってきているものととらえました。一方で、2割の方が全く備蓄をされていないこともわかりました。

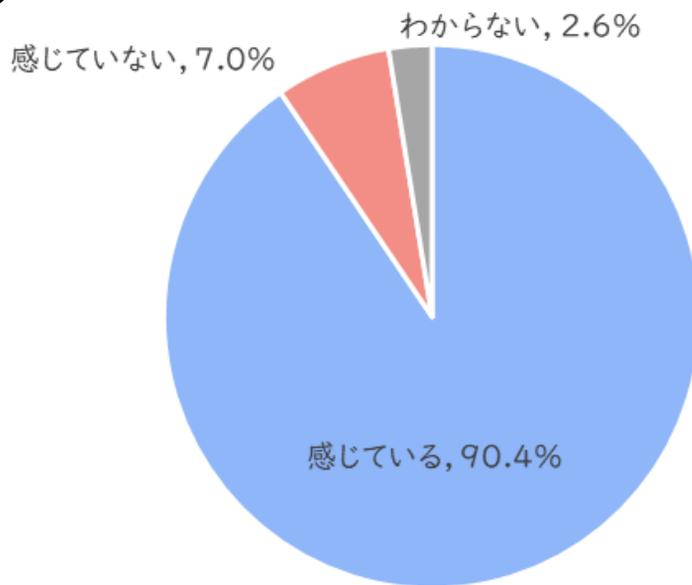
大規模災害が起きた時に備えて、市では食料や飲料水の備蓄をしていますが、市民全員に行きわたる量ではありません。能登半島地震では、生活用水が3か月以上も普及しなかった地域もあります。

市では、毎年11月19日を「備蓄の日」として啓発に努めており、市民の皆さんへ備蓄をしていただくよう啓発をしています。また、市内のホームセンターやスーパーマーケットなどにおいて、防災備蓄品の販促ブースを設けていただいております。

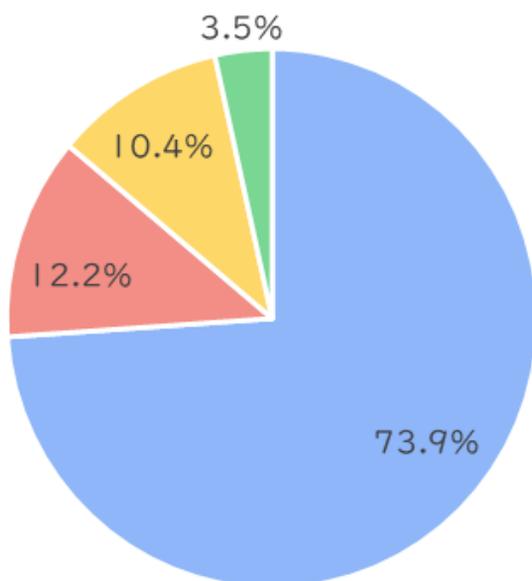
災害はいつ起こるかわかりません。「備蓄の日」を機会として、ご家庭で防災備蓄についても一度確認してください。

アンケートのご協力、多数のご意見等ありがとうございました。

【設問1】地震や大雨などの自然災害に不安を感じていますか？
(n=115)

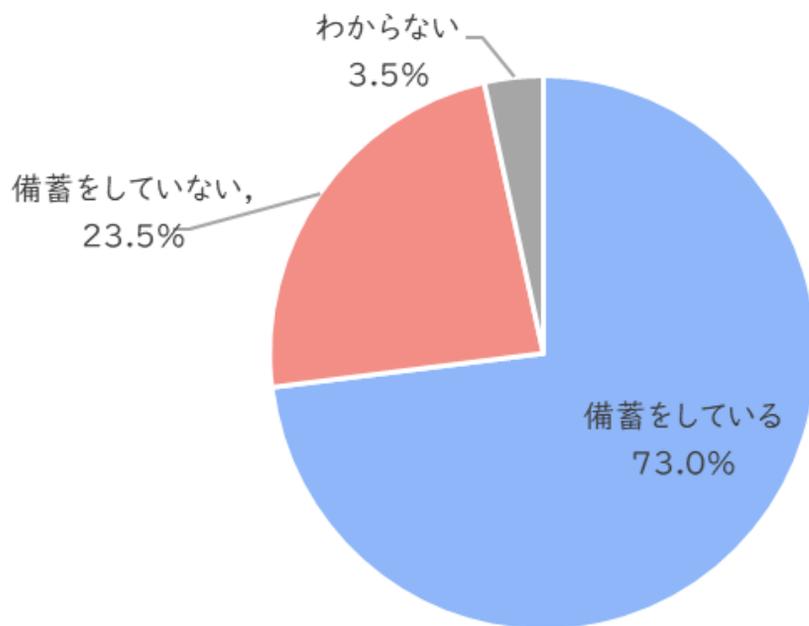


【設問2】インターネットサイトや配布されたハザードマップなどで、お住まいの地域の土砂災害や洪水などの災害リスクを確認したことがありますか？(n=115)

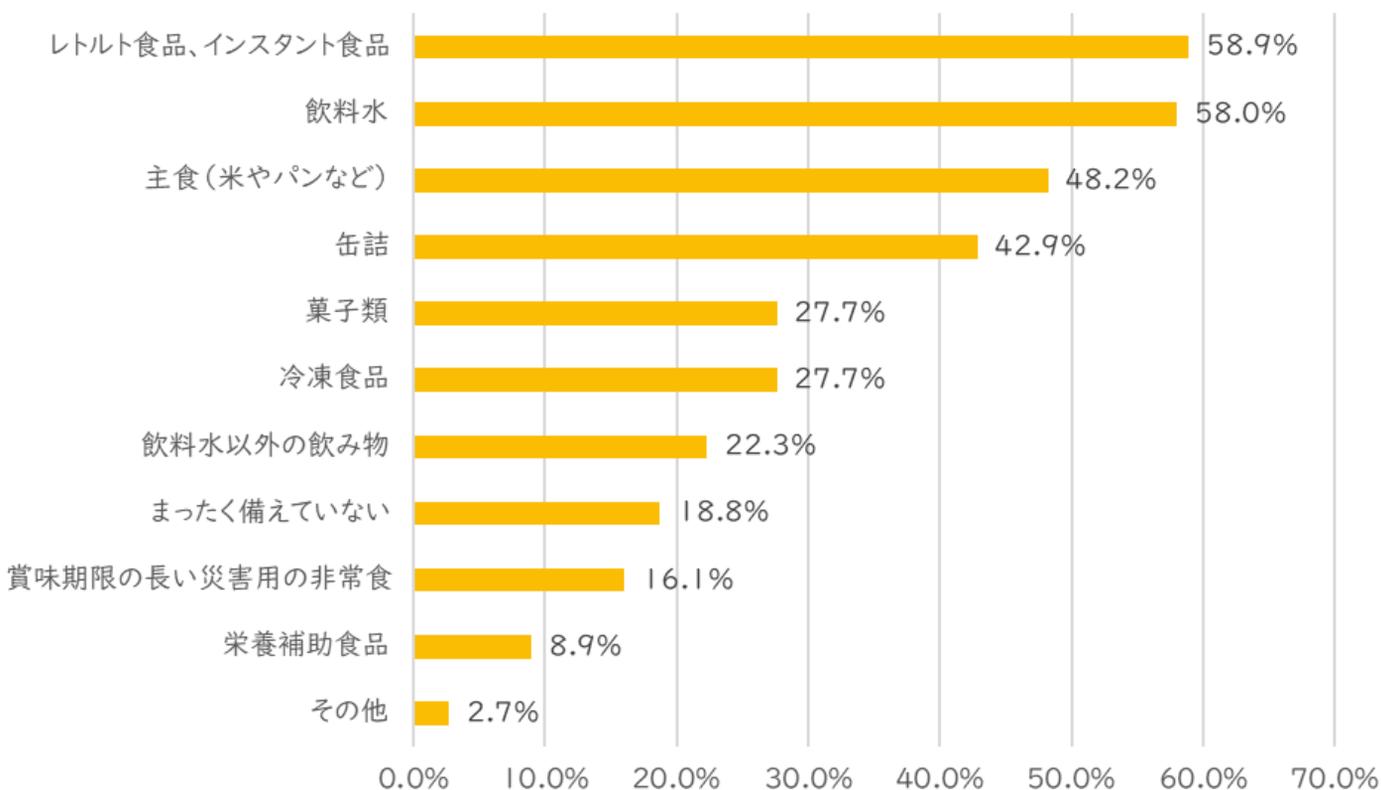


- ハザードマップを見たことがあり、地域の災害リスクを確認した
- ハザードマップを見たことがあるが、地域の災害リスクがなにかわからない
- ハザードマップを知ってはいるが、見たことがない
- ハザードマップの存在を知らない

【設問3】災害に備えて備蓄をしていますか？(n=115)



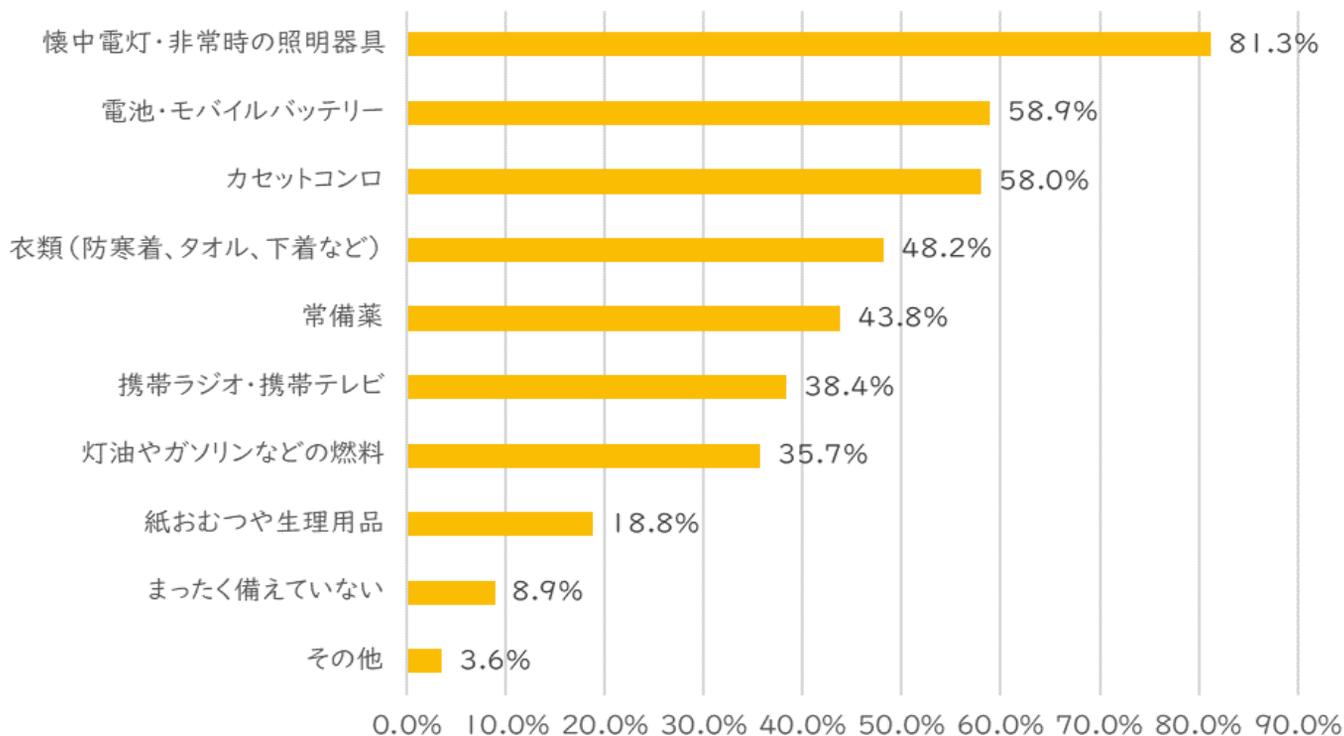
【設問4】食料品で備蓄をしているものをすべて教えてください。(n=112)



その他の回答

- ・充電器
- ・災害用としてではないが、日常の生活でストックは必要なので
- ・米、重機

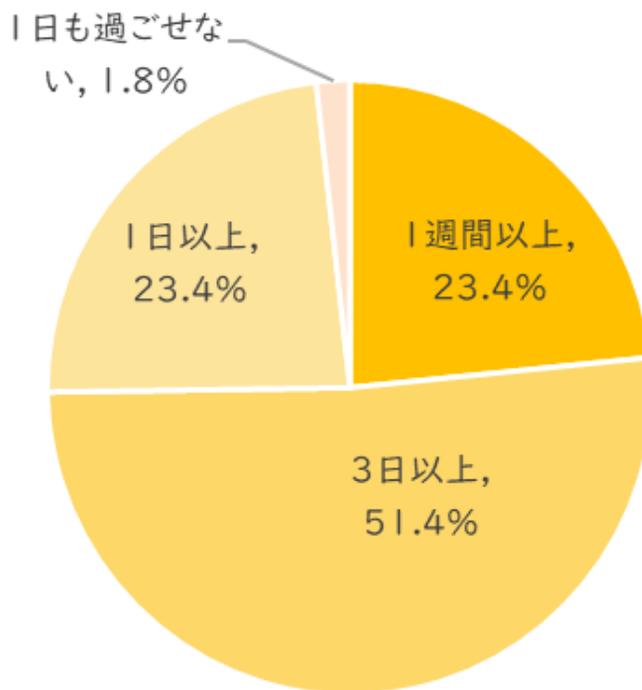
【設問5】食料品以外に備蓄をしているものをすべて教えてください。
(n=112)



その他の回答

- ・簡易トイレ
- ・長靴、軍手、ジャンパー、箱ティッシュ、着替用(ブラウス下着他)一式
- ・ロープ、テレカ、筆記用具
- ・雨よけカッパ、真砂土、土嚢

【設問6】自宅内にある備蓄で家族全員が何日くらい過ごせると思いますか？(n=111)



【設問7】定期的な備蓄の買い替えなどの家庭での取り組み、備蓄に関する経験談、備蓄に関してご意見ご要望などご自由にご記入ください。【自由記述】(原文のまま記載しています)

備蓄しなければと日々思うも、備蓄の正解がいまいちわからず腰が重くなってしまっています

食料等の備蓄は、長期間の保存は、定期的には困難である。

停電が怖いです。水道への影響も心配です。

少人数なので、数日は家にあるもので食べられるが、電気と水がなかったら生活できない。

災害時には、安芸高田市の備蓄品に救われる方がたくさんいらっしゃると思います。大変でしょうが、備蓄品の管理をよろしくお願いします。

備蓄をしないといけないと思いつつ、色々な価格の値上がりで買うのをためらっています。今住んでるところは被害は少ない場所にいますが、以前ゆめタウンや病院が浸水被害にあった時、道路も浸かって買い物に行けない時、備蓄っているなあと思いました。思ってる事と行動が矛盾してますね。

消費期限を確認して買い換えを実施しています。

先の記述のように 災害の為の備蓄としては深刻ではありません。又 一般的ではありませんが、他地域(市外)に生活出来る場所があるので 取り組みに甘さがあるだろうとは思っています。

カセットコンロ ゴミ袋 缶詰は常に用意している。

お水、レトルト食品など時々チェックしてます

ちょうど先週、小学生の子どもと小学校に提出する防災マップを作成するためにハザードマップをインターネットで確認し、子供と備蓄や避難先について話し合いました。

備蓄してるつもりは無いですが、孤立した時にはお米もあるし野外で火が炊ければなんとかなる感じはあります。食べ物よりは気温の調整が効かない事が怖いです。停電時用の蓄電池とかあればいいでしょうけど・・・

災害がよく起こる時期になると、危機感が強まり、備蓄や機材、燃料などの確保に気持ちが向くのですが、いつもは忘れがちです。防災用品や安芸高田市の緊急避難場所等の展示を防災コーナーとして、ベジパークに儲け、備蓄できる食品など置いたり販売したりしたらどうでしょう。

1年毎に買いかえる。

国や地方自治体は災害時に国民を救済するための備蓄が全く不十分であると言われて
いる。安芸高田市は災害時に市民を救済するための備蓄は万全でしょうか。

備蓄を取りやすい場所において、すぐに出られるようにしている。

災害速報がでて慌てて荷造りしているのでもち出せるようと思いつつ先伸ばし
になっています

防災セットが入った防災バックを購入している

備蓄マニュアルみたいな本があると役に立つと思う。

まったく備えていない。オール電化で停電になると何もできないの不安はあるが、備蓄しな
いといけないのだろうかや疑問が強いので今は何もしていない。一戸建てで何とかなるよ
うな気ではいけないのだろうか。

我が家には昔から倉があり、備蓄にはよい場所と思いますが、衛生面や保管施設の整備
が必要と思います。災害国日本、国レベルでの基準的そなえが必要と思います。

備蓄に関しては考え中

3年前多治比川が氾濫し土手が決壊し恐ろしい思いをし、その時早速災害用リュックを準
備し中味にラジオ非常用電灯、衣類、長靴、ジャンパー他入れています。これからもっと勉
強し完璧に危機感を持ちやっていきたいと思っています。

災害、天災はいつ起こっても不思議ではない。二人暮らしてはあるが、もしもの事があつた
ら早めに避難する事を心がけている。

今まで災害に合う事がなく、災害に対しての意識が薄く現在多くの被害を受けられた方な
どを思うと人事ではないと思います。今一度考え取り組みをしたいと思っています。

・何をどの位買っておけば良いのか分からない。むずかしいです。・一つ一つ、何を、そろえ
ておけば良いか、面倒くさいです。

備蓄をしているのか…ストックを多くおいてあるだけ。日頃、用意はいるねといつつ実際
困ったことがないので気にしていないのかもしれない。

・犬といっしょに生活しているので心配です(ペットと共に避難できる場所があつたらいい
と思っています)・高齢のため皆様に迷惑かけないように自分の身は自分で守ろうと常に
気にしています。

食料品の備蓄については、気が付けば期限切れになっているので、ムダになる事がありま
す。点検の定期化すべきと思っています。

非常食はやっぱり美味しいとは言えなかったが、しかたがないかな。消費期限が切れていることがある。

災害が想像できず備蓄に関しても理解が難しいです。

仕事上、冷凍の肉・魚や野菜類持っています

・米、野菜などいつでも何かしらあるように作っている・古いバスタオルなど多く取ってある

水だけは買替している

防災用備蓄の重要性をもっと、もっと、もっと皆にそうだと思わせる活動をやるべき。

食べ物は息子がしてくれます。

2011年3月11日茨城県東海村で東日本大震災を経験しているので良く分かります。

身近で災害にあっていませんが、近年何度も起こっている自然災害。地方にも物資を送っても困るという報道がありますが実際に安芸高田市行政はどのように備えられているのか知りたいです。

買って安心していたら賞味期限が切れていて失敗した。1年に1回は見直しが必要だと思いました。9月1日に決めた方が良くも。◎なぜ11月19日なのですか？市の報告で1カ月前から知らせでもありますか？

賞味期限が過ぎてた!!

災害に関しては実母が「嫁ぎ先が近くに川もないし、山も低いしその点は安心じゃ」と言っていたのですが最近土砂くずれて特に避難先までの道路が寸断されることが想定され孤立が心配です。全国各地での災害を見聞きする時、以前のような安易な考えは見直さねばと思っている昨今です。最低限の備えは心がけています。※特に役所をお願いしたいことは道路の両側の木が大きく成長し枝が道路にせり出して時々大きな枯木が落ちている事があります。対応はたいへんと思いますがもっともっと枝を切り落としていただかないと不十分ではないかと思えます。

定期的に備蓄の買い替えがあまり出来ない

・いつもいる物を準備してと思うが、なかなかできない・大雨が降るたび娘と二人、大きな荷物を作り持って出れるように支度をする。早目の避難と言われても避難所が開くまで出れない・今まで1度みらいに避難した事があります

生活道路の流木、土砂等の流入により不通ヶ所の復旧一早く取除く為重機の確保につとめております。